

書店のための出版情報紙

Vol.23

BookLink

- 第12回「料理レシピ本大賞」受賞作品紹介
- クリスマス「書店員おすすめ本」
- 今井書店 旗艦店舗を大幅リニューアル

page
2-4

第12回「料理レシピ本大賞 in Japan」決定!

出版社の編集担当者に聞く受賞作品のおすすめポイント



page
6-7

2025 X'mas

- 全国の書店員によるおすすめの一冊
- 主婦と生活社『映画 すみっぐらし 空の王国とふたりのコ ストーリーブック』など

page
8

今井書店 松江本店
旗艦店舗を大幅リニューアル 本格カフェで「すごせる書店」に

(本紙「The Bunka News」9月16日付連動特集)





「料理レシピ本大賞 in Japan」授賞式 大賞、準大賞など全10作品の著者を表彰

料理レシピ本大賞実行委員会は9月9日、第12回「料理レシピ本大賞 in Japan」授賞式を東京ドームホテル(東京・文京区)で開催した。料理部門大賞には、りよ子著『すべてを蒸したい せいろレシピ』(Gakken)、準大賞はリュウジ著『リュウジ式至高のレシピ3 人生でいちばん美味しい!基本の料理100』(ライツ社)、お菓子部門大賞はmisa著『気楽に作れて、これ以上おいしいレシピを私は知らない。』(KADOKAWA)がそれぞれ受賞した。大賞・準大賞以外の受賞作品は3面に掲載。ここでは受賞作品のおすすめポイントを出版社の担当に紹介してもらった。(授賞式の模様は本紙「The Bunka News」9月16日付で詳報しています)



受賞の記念撮影をする著者ら



Gakken

『すべてを蒸したい せいろレシピ』 りよ子

Instagramでりよ子さんの存在を知ったことが本書の企画のスタートでした。正直それまでの私は、「せいろ」といえば場所をとるしお手入れもめんどうだし、ちゃんとした人だけが使いこなせる上級者アイテムだと思っていました。ところが、りよ子さんのレシピはものすごくカジュアル。「せいろ」という道具のハードルの高さを一切感じさせない、普段使いのレシピが投稿されていました。さっそくマネしてみると、調理もお手入れも、意外すぎるほどの手軽さ。え、これだけでいい!?!と肩透かしを食らったような思いでした。そして、とにかく蒸すだけで何

でもおいしくなるので、アレもコレも蒸してみたくなり、私自身この本が完成するころには、すっかりせいろ沼にハマっていました。蒸しあがりのふたを開けた瞬間、ふわっと立ち上る湯気とともに現れる料理の美しさといったら…!ぜひ、みなさまにも体感していただきたいです。

「せいろ蒸し」というニッチなテーマにもかかわらず、本書を評価してくださった書店員の皆様方に心より感謝いたします。どうもありがとうございました。

(実用書・エンタメ編集課 田村貴子)

□B5判/112頁/1,540円

ISBN 9784058023624



KADOKAWA

『気楽に作れて、これ以上おいしいレシピを私は知らない。』 misa

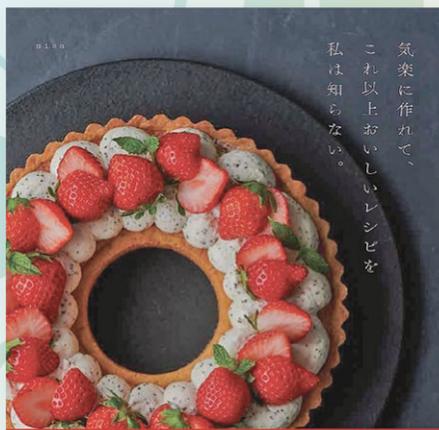
2023年3月に刊行した初著書『食べた人全員に「作り方教えて!」と聞かれるとっておきrecipe』から約2年、本作は満を持してmisaさんが一番得意とするお菓子をテーマとしました。2冊目の刊行が決まる前から、misaさんはたくさんのレシピ本をご自身で買って研究を進めていました。パティシエではない自分が作るからこそ、「簡単さ」と「おいしさ」のちょうどよいバランスを探るため、とくる日もくる日も試作し続けていた姿が思い出されます。

実は、料理レシピ本大賞のお菓子部門受賞はmisaさんの悲願でし

た。企画段階からそれを見据えてページネーションを考え、昼夜問わずよいアイデアが浮かんだら密に連絡を取り合っていました。タイトルと帯のコピーもその会話の中から生まれ、この2つが出たときに2人で「これはいける!」と喜んだことを覚えています。1作目から担当いただいているカメラマン、スタイリスト、ライターとKADOKAWA内の営業、宣伝、制作と最高のチームで本作りに挑めたことを心よりうれしく思います。(ライフスタイル2部 竹内詩織)

□B5判/112頁/定価1,760円

ISBN 9784046072108



料理部門
準大賞

ライツ社 『リュウジ式至高のレシピ 3』リュウジ



リュウジさんの言葉です。「この世で一番美味しい調味料ってなにかというと、愛情だと思うんですね。愛情ってのは、『料理をする自分に愛情を持ってください』って意味です。節約のために料理するって言っても、スーパーの半額弁当買った方が安いし、金だけで言えば全然やんなくていいと思います。でもね、毎

日ちがう味の好きな料理を食べるって、マジで人生におけるメリット半端ないと思いませんか? 半額弁当は味付けがいつも変わらないから、いつもそれだけだと心が死ぬ。だからこそぼくは、心に寄り添える料理研究家でありたいんです。

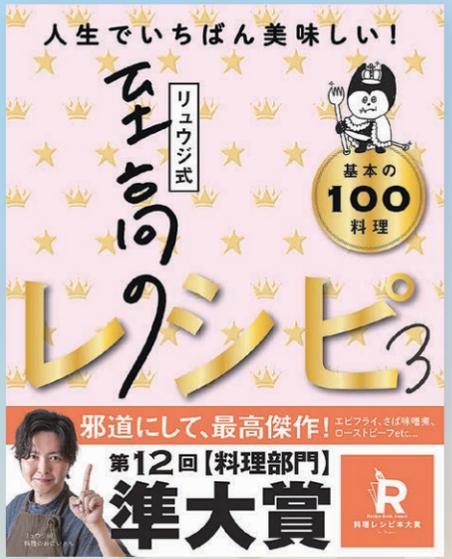
「至高のレシピ」はリュウジさんの思いを形

にした料理本です。レシピの数は1巻から3巻まで合わせて300品。そのすべてが基本料理。人生のお供として、一家に一冊、この本を手にとってもらえると嬉しいです。

(代表取締役社長/編集長 大塚啓志郎)

□B5判/208頁/定価1,870円

ISBN 9784909044594



料理部門
入賞

オレンジページ 『湯気を食べる』 くどうれいん

注目の作家・くどうれいんさんによる雑誌『オレンジページ』の連載に、河北新報での連載や書き下ろしなどを加えた、「おいしいもの」そして「自炊」にまつわるエッセイ集です。

レシピだけが載っている本ではありませんが、王道のレシピ本に負けないくらい、くどうさんの言葉で料理や食への思いが深まったという声が、読者からも寄せられています。「読むと料理がしたくなる」本書の魅力を、より多くの人に味わっていただきたいです。

(エディトリアルコンテンツ部 谷本あや子)

□四六判/212頁/1,760円

ISBN 9784865937039



料理部門
入賞

ポプラ社 『午前7時の朝ごはん研究所』 著:小田真規子/絵・マンガ:スケラッコ

朝昼晩、3食あるうち、いちばん何でもありの食事、それが朝ごはんです。

パンでもごはんでも、水分だけでもいい。でも自由とは、ときに不自由なもの。毎日のことだけに、何か指針がほしい……ということで「朝ごはんは料理にみならずパズルなり」というコンセプトに決まりました。自分の体に足りないピースをパチンと埋める。すると軽快に、今日という日が勢いづいていく。そんな一冊をめざしました。

(一般書企画編集部 谷 綾子)

□四六判/191頁/1,540円

ISBN 9784591181744



料理部門
入賞

自由国民社 『心も体ももっと、ととのう 薬膳の食卓365日』川手鮎子

TVドラマをきっかけに「薬膳本」ブームの火付け役となった15万部突破のベストセラー! 漢方薬局を45年経営、薬剤師の資格ももつ中医学のエキスパートが教える「医食同源」の基本と、毎日の食事のヒントが満載。一日1ページ読むだけで、無理せず健康に生きていく知恵が身につきます。オールカラーの美しいイラストを全編に満載し、読んで眺めて癒される一冊です。旬の食材を楽しみ、しあわせを招く薬膳ごはんを「食べる養生」を!

(代表取締役社長・編集担当 竹内尚志)

□A5変型判/404頁/1,980円

ISBN 9784426128333



【各部門入賞作】

〈料理部門入賞〉

- くどうれいん著『湯気を食べる』(オレンジページ)
- 小田真規子・著/スケラッコ・絵・マンガ『午前7時の朝ごはん研究所』(ポプラ社)
- 川手鮎子著『心も体ももっと、ととのう 薬膳の食卓365日』(自由国民社)

〈こどもの本賞〉

- 吉永麻衣子・料理/柴田ケイコ・原作『パンどろぼうの せかい いちかんたん子どもとつくるパンレシピ』(KADOKAWA)

〈コミック賞〉

- サトウユカ著『キッチンに住みたい』(オーバーラップ)

〈プロの選んだレシピ賞〉

- 浜竹睦子著『自家製はエンタメだ。』(サンクチュアリ出版)

〈ニュースなレシピ賞〉

- 井上咲楽著『井上咲楽のおまもりごはん』(主婦の友社)





こどもの本賞

KADOKAWA

『パンどろぼうの せかいいちかんたん 子どもとつくるパンレシピ』

料理:吉永麻衣子 / 原作:柴田ケイコ



第12回 こどもの本賞
480万部突破!

柴田ケイコさん原作の大人気絵本『パンどろぼう』のパンレシピ第2弾は、さらにかんたんな工程を意識しました。ポリ袋でフリフリ、自由にカットして形をつくとかわいい動物パンができてあがる。パンレシピの名医・吉永麻衣子さんが今回もおいしいレシピを考案。撮影時のキッズモデルも楽しんでフリフリしていたように、たくさんの子供たちが大好きな「パンどろぼう」のキャラクターパンをご家族とつくっていただけると嬉しいです!

(ライフスタイル1部 齊藤直美)

□B5判 / 112頁 / 1,760円
ISBN 9784046067548



9784046067548



コミック賞

オーバーラップ

『キッチンに住みたい』

サトウユカ

人の家のキッチンには心が躍ります。オシャレなものが揃っているキッチンもあれば、機能性重視だったり、アイデア勝負だったり。その人にとっては当たり前でも「何それ?」ってものがドンと置いてあったり。料理して…?ってキッチンだってある。それでもなんかその人の人生だよ。と、サトウユカさんと一緒に作りました。いつだってキレイなキッチンもしゅちゃかめつちやかなキッチンも全部愛おしいなと思える1冊です。

(はちみつコミックエッセイ編集部 担当編集 片野智子)

□A5判 / 160頁 / 1,430円
ISBN 9784824010483



9784824010483



第12回 料理レシピ本大賞 料理部門 コミック賞受賞!





プロの選んだレシピ賞

サンクチュアリ出版

『自家製はエンタメだ。』

浜竹睦子

本書は「自家製」と聞いて思い浮かべる丁寧な暮らしのイメージを、いい意味で裏切ります。著者でイラストレーターの浜竹睦子さんは、とにかく楽しむことに全力! プロへの取材や実験を重ねながら、一から手作りする過程を遊び心たっぷりにまとめていただきました。

時短や効率とは無縁ですが、面倒くささず楽しむ姿は、まさに大人の自由研究。作ってみたいくなること間違いなしの一冊です。(編集部 大川美帆)

□A5判 / 256頁 / 2,420円
ISBN 9784801401525



自家製はエンタメだ。 浜竹睦子

え!? 食オタクのイラストレーターが体当たり実験! これも作れる! 究極の自己満足 210品! 180度 大賞受賞!



9784801401525



ニュースなレシピ賞

主婦の友社

『井上咲楽のおまもりごはん』

井上咲楽

「井上咲楽さんをテレビタレントではなく料理研究家として見て、会話する」これこそが編集者として一番意識したことで、本書が幅広い層の読者から共感を得た理由だと感じています。

井上さんの好きなもの、やりたいことは極力そのままに、ただし作り手に配慮するレシピであるかは何度もご本人と確認し、製作。最終的に誰の手もかきずに調理、盛り付け、校正までやりきった本書は正真正銘「井上咲楽のおまもりごはん」です。(書籍出版部 山田萌絵)

□B5判 / 96頁 / 1,650円 / ISBN 9784074593880




おまもり 井上咲楽の

第12回 料理レシピ本大賞 ニュースなレシピ賞 受賞!



9784074593880

9月9日に東京ドームホテルで開催された授賞式には、アンバサダーの天野さんやニュースなレシピ賞を受賞した井上さんも登壇した。



オープニングであいさつする加藤勤氏



講評&試食をする天野ひろゆきさん



ニュースなレシピ賞を受賞したタレントの井上咲楽さん

受賞出版社からのメッセージ

書店員のみなさま 応援ありがとうございました!

料理レシピ本大賞 in Japan® 第12回【料理部門】

大賞

Gakken

すべてを蒸したいせいろレシピ りよ子 著

大賞受賞

引き続きご拡販よろしくお願いいたします!

KADOKAWA



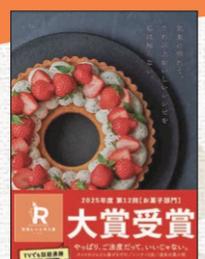
すべてを蒸したいせいろレシピ

第12回 料理レシピ本大賞 in Japan® 第12回【料理部門】

大賞

11年中に選ばれる究極のレシピ 実証!

定価: 1,540円(税込) 978-4-05-802362-4



第12回 料理レシピ本大賞

【お菓子部門】大賞

子どもの本賞

同時受賞



パンどろぼうのせかいいちかんたん

子どもとつくるパンレシピ

こどもの本賞

PR 書店は登録無料——利用している書店員増えています! 活用広がる出版情報プラットフォーム「BookLink PRO」



文化通信社が提供する出版情報プラットフォーム「BookLink PRO(ブックリンクプロ)」は、新刊情報や重版情報、パブリシティ、注文書、販促資料など、出版社が書店に伝えたい最新情報をオンライン配信できる仕組みです。書店の方は無料で利用できます。

現在、出版社や書店での「BookLink PRO」の活用が広がっています。書店のユーザー(アカウント)数も、直近で200以上増え、約2000ユーザーに達しています。活用の一例として、出版社・日経BP様、書店・有隣堂様の話題を以下でご紹介します。最新の情報や必要な情報を効率よく収集でき、コスト削減と作業負担の軽減にもつながる「BookLink PRO」をぜひご活用ください。

書店登録をご希望の方は、右記のQRコードからご登録ください。



書店アカウント新規登録

日経BP

朝井リョウの新刊受注 プルーフ版募集に書店から大きな反響

日経BPは9月5日に、日本経済新聞出版レーベルで朝井リョウ著のエンターテインメント小説『イン・ザ・メガチャーチ』を発売するが、7月25日から書店の初回配本指定募集を開始した。先行して書店に向けて配布しているバウンドプルーフ版(見本版)の募集には多くの反応があり、書店側の期待も高まっているようだ。

指定配本の申し込み締め切りは8月18日。パネル、POP、書影の申し込みも8月30日までWebで受け付けている。指定注文の注文書や拡材の申し込みは「BooklinkPRO」に掲載している。

同作は日本経済新聞夕刊に、2023年4月1日～24年6月20日の期間で359話にわたって連載された。「推し活」を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んで

いた側と、世代の異なる各視点から描く現代小説。書籍は四六判上製、定価2200円。ISBN9784296121045。

6月初めから書店に販促チラシや「BooklinkPRO」を利用してバウンドプルーフ版の案内を開始したところ、多くの希望が寄せられ、同社としては異例の累計1500部を作製した。7月24日からは著者がSNSでの発信も開始した。(**The Bunka News**デジタル版7月31日付配信)



記事は「The Bunka News」デジタル版で読めます。



有隣堂

出版社にFAX送付停止を要請 業界DXは避けられない課題 業界インフラに期待

神奈川県を中心に書店約40店舗を展開する有隣堂は店頭での生産性を高めるため、出版社に対してFAXの送付を停止するよう要請した。同社でこの取り組みを担当する商品企画部・芝健太郎部長は、書店員が選書や情報収集など本来やるべき仕事に時間を割けるよう、DXに取り組む必要があると強調する。芝部長に話を聞いた。

(**The Bunka News**7月22日付掲載)

書店が自ら情報取りに行く

——出版社にFAX送付停止を要請した理由を教えてください。

DXを進めて業務全体を効率化しなければならないという流れの一つとして、FAX廃止がありました。もちろん、FAX

をなくすこと自体が目的ではありません。

個人的にも、世の中でAIと言っているのに、いまだにFAXを使い続けているということに違和感があります。もちろん、現場のインフラが整っていないという課題があることは理解していますが、メールやペーパーレスに移行するのは当然の流れです。さらに、書店にとってFAXをなくすということは、「情報を受け身で受け取って満足している状態」から脱却し、自分たちで情報を取りに行く、そして新しいチャレンジに時間を使っていく—という意識にシフトするためでもあります。(続く)

インタビュー記事は「The Bunka News」デジタル版で読めます。



著名人、著者、作家、編集者、書店員... 本好き、読書好きとつながる、交流できる

ほんのもり

本で心に豊かな森をつくらう

「ほんのもり」は、本好きのためのオンラインコミュニティ。語り合い、情報を分かち合い、イベントでつながる場です。読書は、気づきと出会いの旅。

本をひらけば、森を歩くように心が広がります。プロの推薦本や交流を通じて、新しい本との出会いも。

ここでしか得られない、本の楽しみ方があります。さあ、本の森を育てる旅へ。あなたも一緒に。



10/6 (月)

トークセッション 「ほんのひととき」 第2回

「幅允孝の本を片手にあちこちへ」

本好きな仲間同士の会話や交流が、新たな一冊との出会いにつながる

オンラインコミュニティ 「ほんのもり」

株式会社 文化通信社



第1期会員募集中
月会費 3,300円(税込)
詳細は上のQRコードからご参照ください。



2025 クリスマスにおすすめの一冊

街にイルミネーションが灯りはじめると、書店の棚にもクリスマスの気配が漂い始める。「この本をクリスマスに届けたい」——。そんな想いを込めて、全国の書店員が選んだおすすめの一冊を紹介する。絵本、物語、そして大人が楽しめる本まで。年末商戦を彩る「クリスマス本」は、棚づくりやフェア展開の大きなカギを握る。売り場づくりの参考にも、ぜひお役立ていただきたい。



書店員のおすすめ



大垣書店 高島屋店チーフ 渡邊由佳さん

『ノントン! サンタクロースだよ』 キヨノサチコ/偕成社

言わずと知れたクリスマス絵本の定番。リズム感のあるフレーズが特徴でくりかえしくりかえし読みたくなります。自分でももちろん、大好きな人に読んでもらった絵本でもあり、ページをめくれば楽しい記憶がいつでもよみがえります。
「うふふ、まいにちクリスマスだといいなあ。」のフレーズにクリスマスのしあわせが全部詰まっています!



紀伊國屋書店 川西店 尾藤秀子さん

『ちいさなろば』 作:ルース・エインズワース/訳:石井桃子/ 画:酒井信義/福音館書店

はっと目をひく美しい深紅の表紙。表紙に描かれている一頭のろば。ろばのその眼は少しさびしげ。そっと絵本の裏表紙を見てみるとろばの表情が楽しそうに見えます。
サンタさんと出会ったろばは、一生懸命サンタさんのお手伝いをします。お礼としてサンタさんから届いたとびきりのプレゼントは、ろばをととても幸せにしてくれました。ろばの嬉しさ、そしてクリスマスの奇跡を感じられる絵本です。



クレヨンハウス東京店
子どもの本売り場チーフ 鏡鉄平さん

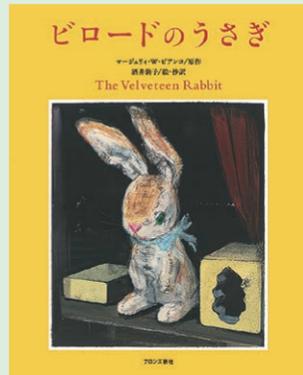
『はじめてのクリスマス』 作:マック・バーネット/絵:シドニー・スミス/ 訳:なかがわちひろ/偕成社



いつも誰かにプレゼントをあげるばかりのサンタさんに、なにかとびきりのすてきなことをプレゼントしたいと考えたエルフたちは…。平和なクリスマスを過ごすことの尊さを思いながら、いつもしあわせをくれる大事なひとに贈りたい。作画を担当したのは、アンデルセン賞受賞のシドニー・スミスさん。

八文字屋 商品部 金沢有一さん

『ビロードのうさぎ』 原作:マージェリィ・W・ピアンコ/ 絵・抄訳:酒井駒子/ ブロンズ新社



僕も子供のころよく遊んでいたぬいぐるみがありました。犬なのか熊なのかよくわからない生き物でしたが、最大限の愛情を注ぐことで感じる事ができるものがあります。大切な想いととも自分の中の大切なものは何かを改めて考えさせてくれる一冊。

主婦と生活社

『映画 すみっこぐらし 空の王国とふたりのコ ストーリーブック』



「映画 すみっこぐらし 空の王国とふたりのコ」のお話がぜんぶ読めちゃうストーリーブック。フルカラーで、映画のイラストもいっぱい！いつでも映画の世界にひたれちゃいます☆お話の漢字はすべてふりがな付き!

□10月31日(金) 発売予定
A5変/128頁/1,100円
ISBN 9784391166293

※画像は映画メインビジュアル



9784391166293

『映画 すみっこぐらし 空の王国とふたりのコ もりもりシールであそぶっく』

「映画 すみっこぐらし 空の王国とふたりのコ」のシールがなんと86枚もついたアクティビティブック! 何度も貼り直せるような加工を本に施してあるので、繰り返し遊べます。小さめサイズで持ち運びにも便利!

□10月24日(金) 発売予定
B5変/128頁/1,320円
ISBN 9784391166309



9784391166309



『映画 すみっこぐらし 空の王国とふたりのコ キラキラだいぼうけんぶっく』

「映画 すみっこぐらし 空の王国とふたりのコ」のイラストをたくさん使った公式遊び本! ぬりえ・お絵かき・あそび・工作が1冊で楽しめるスペシャルな内容です! とじ込みにはポスターサイズのビッグなぬりえも!

□10月20日(月) 発売予定/AB判/48頁/990円
ISBN 9784391645279

※デザインは製作中のため変更の可能性あり



9784391645279



書店員のおすすめ



文教堂 溝ノ口本店 佐藤真弓さん

『くるみ割り人形』

作:E.T.A.ホフマン/
絵:サンナ・アンヌッカ/
訳:小宮由/
アノニマ・スタジオ

バレエや映画で知られている古典文学の新装版。マリメッコのデザイナーとして活躍するサンナ・アンヌッカによる挿画が美しくプレゼントは勿論、自分用に手元に置いておきたい1冊です。

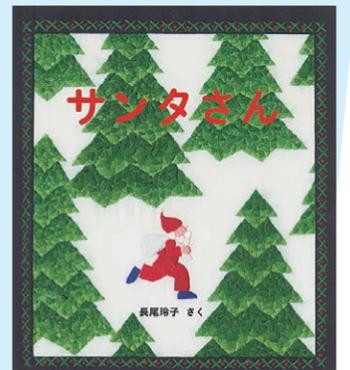


丸善 丸の内本店 児童書担当
木村絵美梨さん

『サンタさん』

作:長尾玲子/福音館書店

春の終わり。ひとりの子どものためにサンタさんが羊の毛を刈ってマフラーを編みはじめます。冬までかかって編み上げたっておきのプレゼントを持って、遠く離れた女の子の元へ向かうサンタさん。自分のためだけにこんなにも時間をかけて届けてもらえるなんて贅沢すぎる! クリスマスのプレゼントがよりいっそう特別なものになること間違いなしの絵本です。



谷島屋 イオンモール浜松志都呂店
小野寛子さん

『もうすぐクリスマス』

作:北岸由美/白泉社



クリスマスって当日はもちろん、待っている間も楽しいですね。クリスマスへ向けてうさぎさんたちが準備している毎日が描かれているアドベント絵本です。リース作りやキャンドル作り、絵本の中に入って一緒に過ごしてみたくありません。色とりどりのイラストもとても可愛く、みんなが楽しそうにしているのが嬉しくなり幸せな気持ちになります。

有隣堂 横浜駅西口店 由元麻美さん

『はじめまして、サンタさん』

作:ジャーヴィス/訳:万木森玲/
岩崎書店



ある夜、目の前に現れた白いおひげのおじいさん。はじめて会うサンタさんに女の子の質問攻撃が止まらない。「わたしのおじいちゃんよりおじいちゃん?」「エントツ、こわくない?」「サンタさんのソリにのっていい?」なんてリクエストも…。憧れの人に会えた女の子のワクワクドキドキがあふれます。

今井書店松江本店

旗艦店舗を大幅リニューアル 本格カフェで「すごせる書店」に

今井書店は今年5月、旗艦店である松江本店(旧グループセンター店)を全面的にリニューアル。「すごせる書店」をコンセプトに、本格的なピザ窯を備えた直営カフェを併設し、広々とした空間に在庫も増やした。オープン後の売上は好調で、若い家族づれなどの来店が増えているという。

(詳細は「The Bunka News」9月16日付8面をご覧ください)

店舗面積は300坪。入口を入ってすぐに100席にのぼるカフェコーナーを設けた。カフェは直営でピザ窯も備える本格派。テーブル席、カウンター席、ソファを配し、ペット同伴可能な席もある。

トークショーなど多彩なイベントも予定しており、駐車場ではマルシェを月に1~2回開催する。



駐車場からメインの入り口。正面にカフェの厨房(ストライプのシェード)が見える

店内は天井を外したままにして、倉庫のようなレイアウトに。現れた鉄骨の柱の錆止め色を店内や外壁、ブックカバーのカラーにして統一感を出した。照明は蛍光灯をやめて、暖色系のスポットライトなど照度を落として落ち着いた雰囲気にした。



入り口部分にあるカフェのカウンター席



店内は天井を外し吹き抜けに



オーダーメイドの木製書棚



セルフレジ中心の決済に

書棚や平台など木製の什器はすべてオーダーメイドで製作した。地元(鳥取県智頭町)の杉材を使い、設計段階から書店員の意見も取り入れた。書棚は奥行きを文庫や単行本、コミックスなど陳列する商品の判型に合わせたほか、児童書の棚は子どもの視線で面陳と棚差しができるように工夫されている。

レジは光和コンピューター製のセルフレジ4台と有人レジ1台の構成に。同社が自社開発したポイントアプリにも対応する。レジ下の棚にブックカバーや紙袋などを用意している。



児童書の棚は子どもの視線に合わせて陳列できる



店舗の外壁も錆止め色で塗装



今井書店の歴史的なデザインをモチーフにした新しいブックカバー

本を主役にするため倉庫のような空間にした店舗は、むき出しになった鉄骨の錆止め色を基調にした。外壁やブックカバーもこの色を使っている。新たにデザインしたブックカバーは、1872年創業の同社の歴史を示す「今井の紋」や創業当時の店舗の絵をあしらった。